

平成 29 年 10 月 2 日

株式会社銀嶺食品
代表取締役社長 岡崎 慎二

有限会社三宝工業
代表取締役 西戸 裕一

6 次産業化の「福島モデル」を活用した、オーガニックエッグの 生産・加工・流通における業務提携のお知らせ

株式会社銀嶺食品（本店：福島県福島市、代表者：岡崎慎二）と有限会社三宝工業（本社：福島県伊達市、代表者：西戸裕一）は平成 29 年 10 月 2 日に 6 次化事業における戦略的パートナーとして業務提携契約を締結することとなりましたのでご報告申し上げます。

～「福島モデル」を活用した県内 6 次化事業のコラボによる 6 次産業の創出～

■業務連携の目的

これまで伊達市を中心にオーガニック農産物（ペポカボチャなど）などの生産に挑戦してきた三宝工業が、銀嶺食品が独自に展開する「福島モデル」という食のオープンプラットフォームを活用することで、オーガニックエッグの生産・加工・流通の体制を低投資かつ効率的に整備すること。またそれにより福島県内において循環農業によるビジネスモデルを確立することで地域における農業経済の活性化、販路拡大による雇用の増加に寄与すること。

■業務連携の主な内容

- (1) オーガニック農産物を利用した 6 次化商品の開発、製造、卸売および直営レストラン等の運営
- (2) オリジナルブランドの共同開発
- (3) 資産の相互活用と人材の交流
- (4) 互いが保有するノウハウと情報の活用

■目的と効果

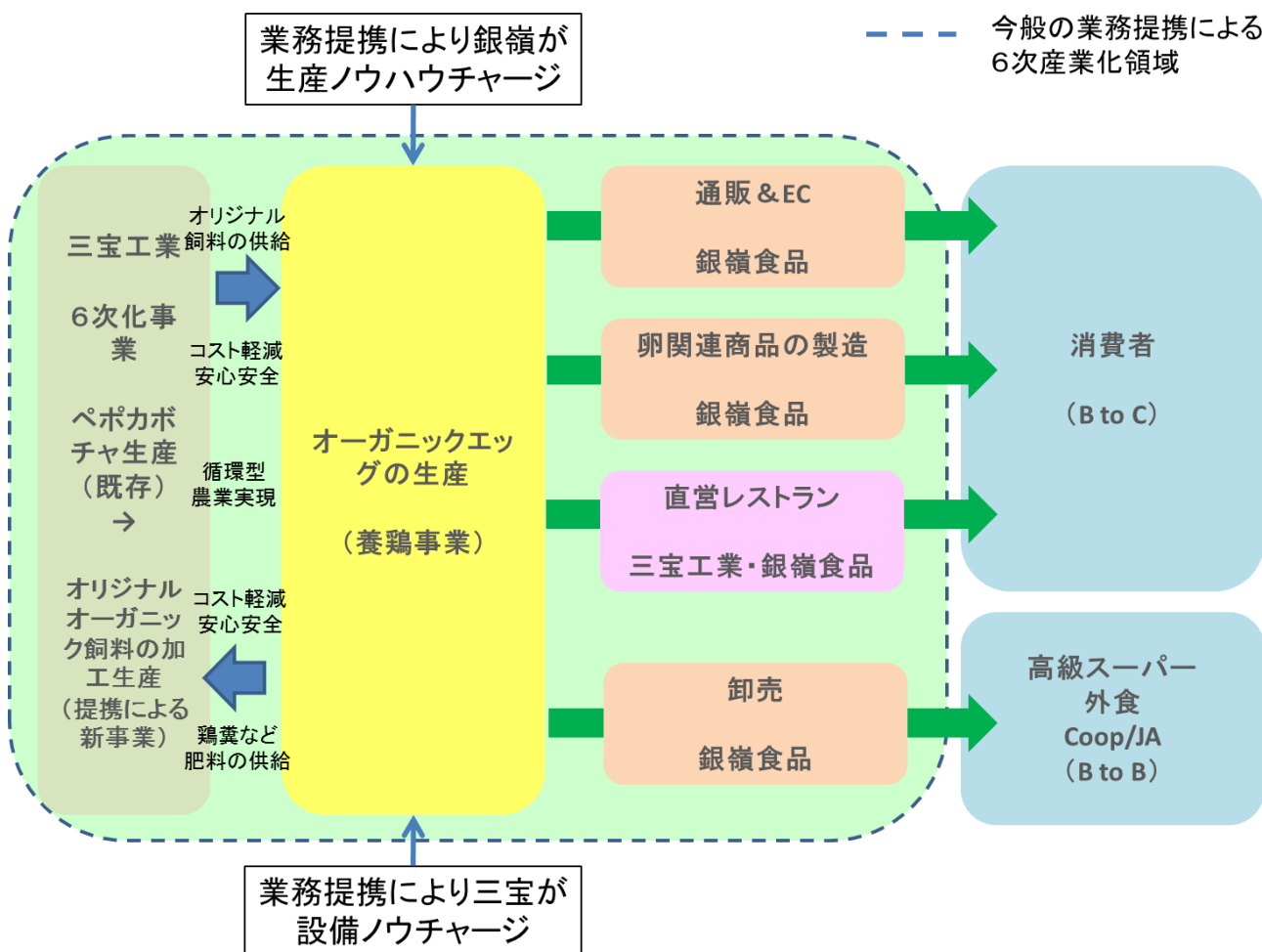
本業務提携により銀嶺食品が独自に保有している 6 次産業化に関する企画・開発およびコーディネート
のノウハウと三宝工業が培って来た独自の 6 次化事業においてのノウハウと農地改良および整備の経験、
または自社保有重機等の活用を相互に推進することにより、両社は新規事業として「オーガニックエ
ッグ」の生産等を協業で取組むこととなる。本業務提携によって創出する事業において、県内で進む過疎
地域での耕作放棄地等土地の有効活用が見込め、かつ「オーガニックエッグ」の生産過程において国内
産オーガニック原料によるオリジナル飼料を開発することで、より効率的かつ効果的な「循環農法」を

実現する計画。なお、生産される「オーガニックエッグ」の加工・流通は銀嶺食品が担い、業務用製菓材料、外食・中食用1次加工品等の食品およびパン・菓子製品として加工生産「2次産業」、JA 福島みらい・JA 会津よつば等の農産物直売所等の販売網、または丸果中央商事など提携先の販路も活用しながら、全国展開を進めていく予定。

*本契約による6次産業化のイメージは図表どおり。【図1】。

また、同契約事業展開のスケジュールと事業規模の計画は【図2】のとおりで、安心安全な「オーガニックエッグ」は消費者から標榜される生産物であると同時に、確実に消費者ニーズを掴んでおり、マーケットインの発想による農産物の生産量の拡大は、産地における生産物に競争力と付加価値を産み、かつ産地で原料の段階から完全に差別化された原料による加工品等の商品も同様に差別化された商品となる確率が高いため生産量の拡大が見込める。両社は本業務提携締結による6次産業化により、産地の流通価格の底上げ⇒農業従事者の所得増加⇒1次産業への就労増加を目指し、それら経済活動の結果として、福島における1次産業の担い手減少に歯止めをかけることも目的としている。

図1



業務提携する企業の概要

株式会社銀嶺食品

所在地 福島県福島市泉字道下16-51

代表者 岡崎 慎二

事業内容 パン・菓子類の開発、製造及び販売・青果物加工品の製造及び販売
青果物の瓶詰・缶詰の製造及び販売・青果物の販売及び輸出入業
経営コンサルティング業・レストランおよびカフェの経営
パン・菓子類の商品開発およびコンサルティング業

有限会社三宝工業

所在地 福島県伊達市保原町富沢字入山70

代表者 代表取締役 西戸 裕一

事業内容 一般土木事業・産業廃棄物取扱い事業・農業参入による6次化事業